

お申込みからご加入までのスケジュール (2019年2月～12月)

申込書の UAゼンセン到着 締切日	初回掛金引落日	加入日 (保障開始日)	申込書の UAゼンセン到着 締切日	初回掛金引落日	加入日 (保障開始日)
2月20日	生命/医療/住宅あんしん	4月12日	8月20日	生命/医療/住宅あんしん	10月15日
	積立	8月13日		積立	2月12日
3月20日	生命/医療/住宅あんしん	5月13日	9月20日	生命/医療/住宅あんしん	11月12日
	積立	8月13日		積立	2月12日
4月17日	生命/医療/住宅あんしん	6月12日	10月18日	生命/医療/住宅あんしん	12月12日
	積立	8月13日		積立	2月12日
5月20日	生命/医療/住宅あんしん	7月12日	11月20日	生命/医療/住宅あんしん	1月14日
	積立	8月13日		積立	2月12日
6月20日	生命/医療/住宅あんしん	8月13日	12月20日	生命/医療/住宅あんしん	2月12日
	積立	8月13日		積立	2月12日
7月19日	生命/医療/住宅あんしん	9月12日			
	積立	2月12日			

※1 □座引落日の方の場合です。
※2 給与天引きの方の場合は、上記スケジュールと異なる場合があります。

ご加入後の取扱い

- 掛金の引落日**
 - 掛金は組合員本人の指定口座から自動的に引落日されます。(所属組合によっては給与天引きができますので、所属組合にご確認ください。)
 - 掛金が引落日されなかった場合は、翌月まとめて再請求いたします。
 - 掛金が3か月引落日されなかった場合は、該当共済は自動脱退となります。ただし、組合員本人が25歳以下である場合は、再度申込書を提出することによって加入申込みができます。(26歳以上の場合は、加入できません。)
- 30歳になると保障はどうなりますか？**
 - 3月1日現在、満29歳に達した最初に到来する2月末日を持ってフレッシュパックは満了となり、共済毎に下記取扱いとなります。
 - 積立共済、生命共済、医療共済は、自動継続となり保障は続きます。(ただし、医療共済の掛金は30歳の掛金に変更となります。)
 - フレッシュパックの住宅あんしん共済は、自動脱退となります。(保障を希望する場合は、「住宅あんしん共済」に、別途申込みが必要です。)
- 30歳までに、4つの共済のいずれかの保障額・掛金を変更(加入タイプの変更)をする場合**
 - 変更を希望する各共済のパンフレット綴込みの申込書で加入タイプの変更申込みをしてください。
 - 医療共済は、毎月受付をしています。
 - 積立共済は、年2回(上記UAゼンセン申込書締切日)受け付けます。
 - 生命共済は、年1回(1月20日UAゼンセン申込書締切日)受け付けのみです。
- 30歳までに、4つの共済のいずれか、もしくは全て脱退する場合**
 - 各共済所定の「脱退届」をご提出ください。(フレッシュパック専用の脱退届はありません。)
 - 4つの共済のうち積立共済、生命共済、医療共済のいずれか1つでも脱退した場合には、住宅あんしん共済は、自動脱退となりますのでご注意ください。(ただし、住宅あんしん共済の掛金引落日の停止期間は若干遅れる可能性があります。その場合、保障はその時期継続しますので掛金の返戻はありません。)
 - 住宅あんしん共済の脱退届は、UAゼンセンホームページから取り出せます。
- 30歳までに、中途退職等で組合員でなくなる場合**
 - 積立共済、生命共済、医療共済については、「福祉共済会会員」(年会費1,800円)として、継続加入することができますので、所属組合の共済担当まで必ず申し出てください。
 - 住宅あんしん共済については、自動脱退となりますのでご注意ください。

お問い合わせ先 **UAゼンセン 生活応援・共済事業局**

☎ **0120-229-075**
共済フリーダイヤル

TEL **03-3288-3533**
生活応援・共済事業局

FAX **03-3288-3708**
共済直通



左記QRコードをスマートフォンやタブレット端末のQRコードリーダーで読み取ることで、UAゼンセン共済ホームページへ簡単にアクセスいただけます。また、各共済ページからは、パンフレットもダウンロードいただけます。

URL: <http://uazensenkyosai.jp/>
E-mail: kyosai@uazensen.jp
〒102-8273 東京都千代田区九段南4-8-16
受付時間: 平日9:00～18:00(水曜9:00～17:15)

【取扱代理店】(株)ジー・エル・シー TEL.03-3288-3661

新社会人を応援!

フレッシュパック

必要な保障が1つになった
新入組合員のための共済制度

将来に備える



月々**3,000円**～
(貯蓄)

まさかに備える

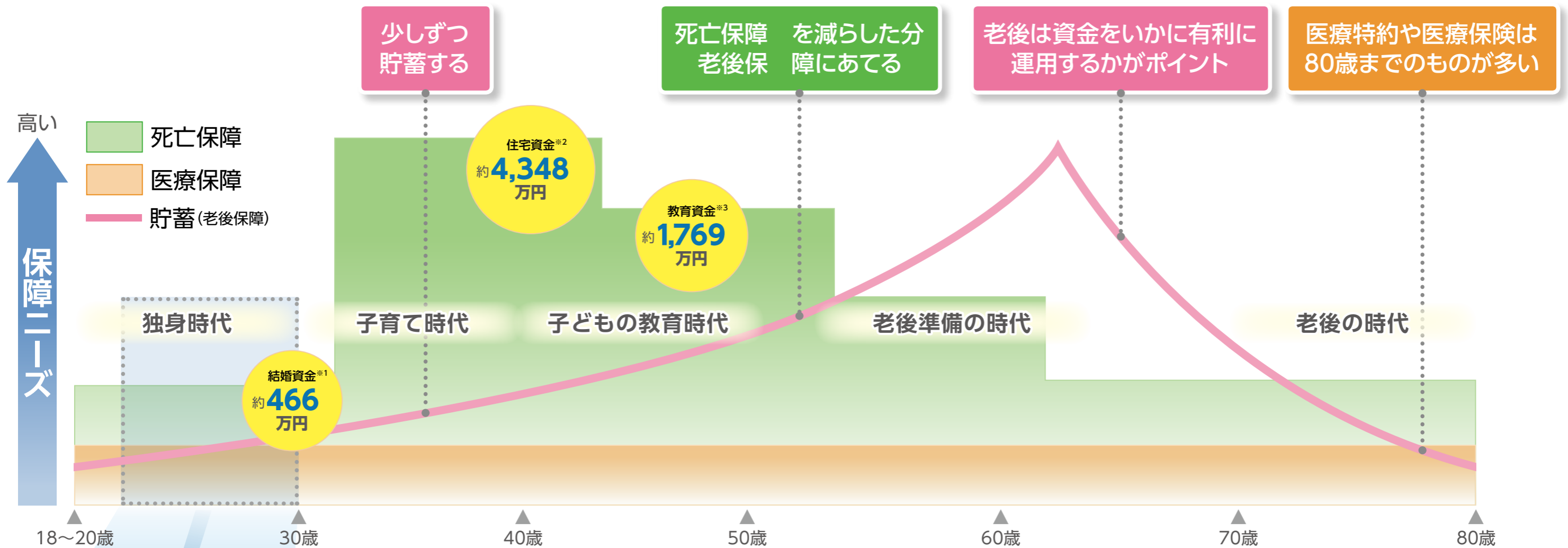


男性:月々**1,420円**
女性:月々**1,560円**
(掛捨て)

ご加入にあたっては、必ず各共済のパンフレット(重要事項説明書等)をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合、裏面連絡先までご照会ください。



ライフステージごとの保障ニーズの推移



独身時代に
必要な備えとは…?

● 主な支出

※1 結婚資金
 ■結婚に関わる費用:約466万円(内、披露宴:約357万円)
 *「ゼクシィ結婚トレンド調査 2018調べ」(リクルートマーケティングパートナーズ/2018年10月)をもとにUAゼンセン作成

※2 住宅資金
 ■マンション:4,348万円/土地付注文住宅:4,039万円
 /建売住宅:3,337万円
 *「2017年度 フラット35利用者調査 所要資金 全国平均」
 (住宅金融支援機構/2018年7月)をもとにUAゼンセン作成

※3 教育資金
 ■幼稚園~高校卒業(15年間の学習費):私立 約1,769万円/公立 約540万円
 *「平成28年度 子供の学習費調査」(文部科学省/平成29年12月)をもとにUAゼンセン作成
 ■大学4年間(自宅通学):私立文系 約738万円/国立 約503万円
 *「平成29年度 教育費負担の実態調査結果」(日本政策金融公庫/平成30年2月)をもとにUAゼンセン作成

UAゼンセン共済
フレッシュパック
のコンセプト

将来に備える

まさかに備える

積立

予定利率 年 **1.25%** で運用

※予定利率については、将来変更される場合があります。

死亡

死亡・重度障がい
300万円

医療

入院 **3,000**円/日
(成人病は倍額)

家財

全焼
200万円

将来に備える

1 積立部分 (積立共済) … 計画的な積立に

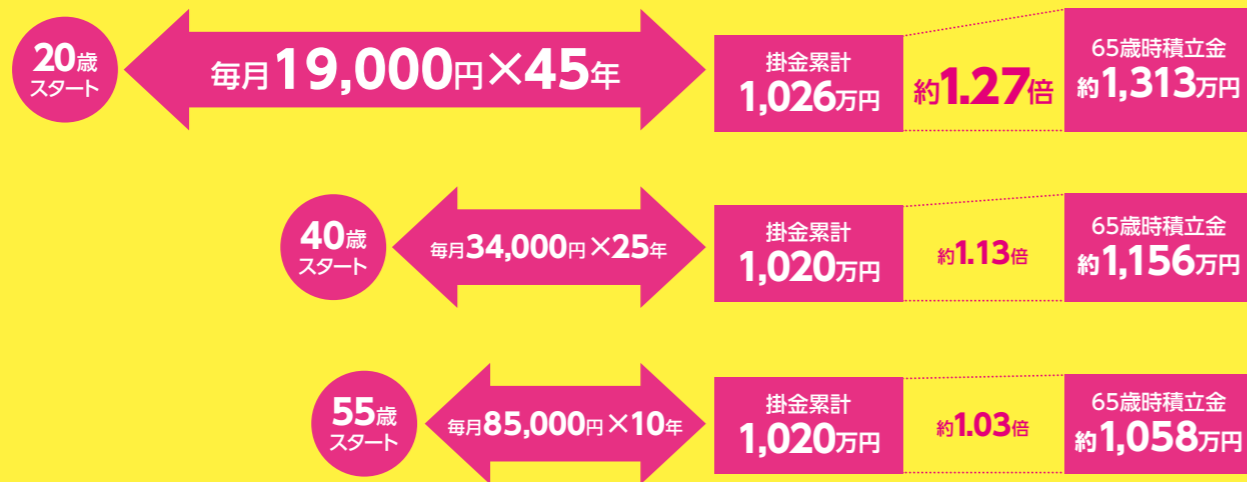
月々1口1,000円単位
3口**3,000円**~の積立
(最高200口)

積立金は予定利率^{※1}
年**1.25%**の複利で運用

満**65**歳までの
長期間の積立が可能

Point 1 早く始めるほど有利!

スタート時期によって、月々の負担や積立金額が**こんなにも**違います。
(65歳までに1,000万円を払い込んだ場合)



Point 2 税金が戻ってくる!

掛金は一般の**生命保険料控除**の対象^{※2}になります。(所得税・住民税の軽減が可能)

例 年収280万円の方が、積立共済に**毎月3,000円**を積立てた場合

年間 **36,000円**
の掛金のうち

4,055円
の税金が戻ってきます。

返戻率
11.26%

Point 3 中途での払い出しが可能!

所定の事由に該当し、資金が必要な時は、**積立金を払い出すことも**できます。



まさかに備える

2 死亡保障部分 (生命共済) … 社会人の責任として

● 独身時代にはピッタリな**300万円 (A-3コース)** [※]保障!

死亡したとき
300万円

重度障がいとな
ったとき
300万円

※死亡した(重度障がいとなった)場合、300万円の共済金が支払われます。
(詳しくは、「生命共済」のパンフレットをご覧ください。)
※600万円(A-6コース)に変更することも可能です。

3 医療保障部分 (医療共済) … 病気やケガの入院・手術に

● 短期入院から長期入院・ガン・先進医療も幅広くカバー!

入院給付金 1日につき 3,000円 (成人病は倍額) ※365日限度	手術給付金 3万円 (成人病は倍額) ※入院を伴う重大手術 以外の場合	放射線治療 給付金 3万円 (成人病は倍額)	ガン診断給付金 一時金 30万円	ガン患者申出療養 保障給付金 2,000万円 (実費限度)	先進医療給付金 2,000万円 (実費限度) 一時金10万円
死亡・高度障害 給付金 一時金 30万円	遺児年金 子ども1名につき 月額 1万円	ドナー給付金 一時金 5万円	休業保障特約 給付金 1日につき 3,000円	ガン診断給付金 (上乗せ)特約 一時金 +100万円	女性医療特約 (女性の場合) 入院1日につき +3,000円

4 家財保障部分 (住宅あんしん共済) … 住まいの万が一の災害に

● 寮やアパート(賃貸)でもOK! 家財や引越費用をカバー!

火災 全焼壊 200万円	風水雪凍害 全壊 30万円	浸水 床上 15万円 床下 2万円	地震 全壊 10万円 全焼 40万円	その他の住宅災害 2万円
---------------------------	----------------------------	---------------------------------------	--	------------------------

※フレッシュパックの住宅あんしん共済は、30歳までの保障となります。



月額掛金 **1 積立** ➡ **3,000円**~

月額掛金 **2 死亡 + 3 医療 + 4 家財** ➡ 男性**1,420円** 女性**1,560円**

※1 掛金から制度運営事務費、生保手数料等を差引いた金額に対しての運用予定利率です。記載の予定利率は2019年1月1日現在の明治安田生命保険相互会社のもとなり、将来変更される場合があります。

※2 加入者が払い込んだ保険料(掛金-制度運営事務費)が一般の生命保険料控除の対象となります。なお、税務の取扱いについては、税制改正により今後変更となることがあります。

フレッシュパック加入後には、「結婚」「子どもの誕生」などのライフステージの変化に合わせて、自分にピッタリの形に見直していきましょう。

結婚



■30歳男性

ライフステージの変化その1… 守るべき人が、できたとき

- 結婚するということは独身時代とは異なり「守るべき家族」を持つということです。
- 積立、死亡保障、医療保障を少しずつ増やしてみましょう。

①積立部分(積立共済)

基本パックの3口3,000円

↓

10口10,000円に変更

月額掛金 10,000円

●積立金額の違い

5年後の積立金	3口 約181,470円	変更	10口 約604,900円
10年後の積立金	3口 約373,560円	変更	10口 約1,245,200円

②医療保障部分(医療共済)

基本パックの加入タイプ3型
月額掛金 1,420円

↓

5型に変更

月額掛金 1,760円

●受給金額の違い…脚の骨折で30日間入院、手術後、リハビリテーション、退院後20日間の自宅療養を経て職場に復帰した場合

加入タイプ3型	加入タイプ5型
入院給付金 1日3,000円×30日=9万円	入院給付金 1日5,000円×30日=15万円
手術給付金 3万円	手術給付金 5万円
休業保障特約給付金 1日3,000円×15日=4.5万円	休業保障特約給付金 1日5,000円×15日=7.5万円
合計受給金額 16.5万円	合計受給金額 27.5万円

③死亡保障部分(生命共済)

300万円(A-3コース)

↓

2,000万円(A-20コース)に変更

月額掛金 2,000円

※35歳以下の場合(36歳以上は3,200円となります。)

④家財部分(住宅あんしん共済)

基本パックの保障内容
30歳で終了

↓

住居に応じて見直し

月額掛金合計 13,760円

※住宅あんしん共済分は別途

※1 積立部分(積立共済)について
給付額は現時点では確定しておらず、変動(増減)します。記載の給付額は、明治安田生命保険相互会社(事務幹事会社)の予定利率を使用しており、その他の引受会社の予定利率を含めたものとはなっていません。記載の給付額は、明治安田生命保険相互会社(事務幹事会社)の予定利率(2019年1月1日現在年1.25%)に基づき計算していますが、実際にお支払する金額は変動(増減)することがあり、将来のお支払額をお約束するものではありません。なお、基礎率(予定利率、予定死亡率、予定事業費率等)については、将来変更される場合があります。

記載の給付額には、配当金を加算していません。毎年の配当金はそれぞれのお支払時期の前年度決算により決定しますので、現時点では確定していません。決算実績によってはお支払できない年度もあります。また、配当金が生じた場合には積立金の増額に充当されます。年度途中で脱退された場合は、その年の配当金がありません。積立金(脱退一時金)は加入年数が短いと払込保険料の合計を下回ります。詳細は、パンフレットをご覧ください。この制度は、次の生命保険会社と締結した拠出型企業年金保険契約に基づき運営します。明治安田生命保険相互会社(幹事)、太陽生命保険株式会社、第一生命保険株式会社、日本生命保険相互会社、富国生命保険相互会社、住友生命保険相互会社

子どもの誕生



■32歳男性

ライフステージの変化その2… 責任世代のはじまりのとき

- 子どもが生まれると「家族に対する責任」がますます重くなっていきます。
- 十分な死亡保障と医療保障に加えて、お子さまの将来の教育費やマイホーム購入の頭金のために積立も増額していきましょう。

①積立部分(積立共済)

基本パックの3口3,000円

↓

15口15,000円に変更

月額掛金 15,000円

●積立金額の違い

8年後の積立金	3口 約295,410円	変更	15口 約1,477,050円
20年後の積立金	3口 約792,150円	変更	15口 約3,960,600円

②医療保障部分(医療共済)

基本パックの加入タイプ3型
月額掛金 1,420円

↓

5型に変更

月額掛金 1,760円

●受給金額の違い…胃ガんで30日間入院(胃全摘術(開腹手術))、手術後、化学療法(抗がん剤点滴)、退院後15日間の自宅療養を経て職場に復帰した場合

加入タイプ3型	加入タイプ5型
入院給付金 1日6,000円×30日=18万円	入院給付金 1日10,000円×30日=30万円
手術給付金 15万円	手術給付金 25万円
ガン診断給付金 30万円	ガン診断給付金 50万円
休業保障特約給付金 1日3,000円×10日=3万円	休業保障特約給付金 1日5,000円×10日=5万円
ガン診断給付金(上乗せ)特約 100万円	ガン診断給付金(上乗せ)特約 100万円
合計受給金額 166万円	合計受給金額 210万円

③死亡保障部分(生命共済)

300万円(A-3コース)

↓

3,000万円(A-30コース)に変更

月額掛金 3,000円

※35歳以下の場合(36歳以上は4,800円となります。)

④家財部分(住宅あんしん共済)

住居に応じて加入

月額掛金合計 19,760円

※住宅あんしん共済分は別途

※2 医療保障部分(医療共済)について
●1 休業保障特約7,500円の加入には、平均月収(年間所得/12)が22.5万円以上であることが必要です。
●2 加入タイプ5型は、医療共済パンフレットの基本保障5型+休業保障特約7,500円+(ガン診断給付金上乗せ特約)の保障内容です。

※3 家財保障(住宅あんしん共済)について
家財保障は30歳で終了となりますので、家財保障を希望する場合は、住宅あんしん共済にご加入ください。なお、積立、医療、死亡の各保障の基本パックは30歳以降も自動継続ができます。

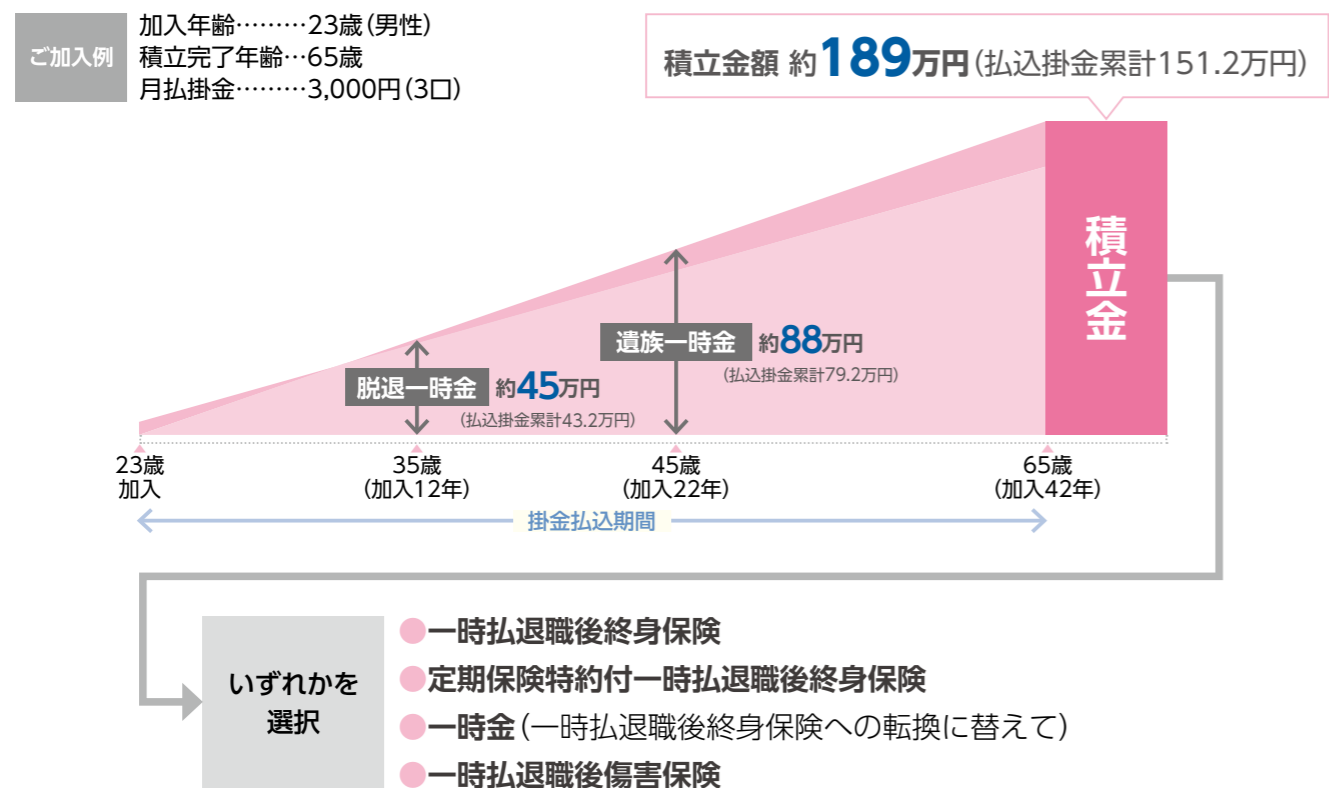
積立金額早見表

積立部分(積立共済)は、1口1,000円単位で3口以上から始められます。
この積立金額早見表は、100万円~1,000万円までを貯蓄するのに必要な口数(月額掛金)と期間の目安としてご活用ください。

期間(年)	3	5	10	15	20	25	30	35	40	45	
3,000円 (3口)	積立金額	108,000	181,470	373,560	576,870	792,120	1,019,970	1,261,230	1,516,650	1,787,100	2,073,660
	払込掛金	108,000	180,000	360,000	540,000	720,000	900,000	1,080,000	1,260,000	1,440,000	1,620,000
5,000円 (5口)	積立金額	180,000	302,450	622,600	961,450	1,320,200	1,699,950	2,102,050	2,527,750	2,978,500	3,456,100
	払込掛金	180,000	300,000	600,000	900,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,100,000	2,400,000	2,700,000
10,000円 (10口)	積立金額	360,000	604,900	1,245,200	1,922,900	2,640,400	3,399,900	4,204,100	5,055,500	5,957,000	6,912,200
	払込掛金	360,000	600,000	1,200,000	1,800,000	2,400,000	3,000,000	3,600,000	4,200,000	4,800,000	5,400,000
15,000円 (15口)	積立金額	540,000	907,350	1,867,800	2,884,350	3,960,600	5,099,850	6,306,150	7,583,250	8,935,500	10,368,300
	払込掛金	540,000	900,000	1,800,000	2,700,000	3,600,000	4,500,000	5,400,000	6,300,000	7,200,000	8,100,000
20,000円 (20口)	積立金額	720,000	1,209,800	2,490,400	3,845,800	5,280,800	6,799,800	8,408,200	10,111,000	11,914,000	13,824,400
	払込掛金	720,000	1,200,000	2,400,000	3,600,000	4,800,000	6,000,000	7,200,000	8,400,000	9,600,000	10,800,000
30,000円 (30口)	積立金額	1,080,000	1,814,700	3,735,600	5,768,700	7,921,200	10,199,700	12,612,300	15,166,500	17,871,000	20,736,600
	払込掛金	1,080,000	1,800,000	3,600,000	5,400,000	7,200,000	9,000,000	10,800,000	12,600,000	14,400,000	16,200,000
50,000円 (50口)	積立金額	1,800,000	3,024,500	6,226,000	9,614,500	13,202,000	16,999,500	21,020,500	25,277,500	29,785,000	34,561,000
	払込掛金	1,800,000	3,000,000	6,000,000	9,000,000	12,000,000	15,000,000	18,000,000	21,000,000	24,000,000	27,000,000

…100万円以上を貯蓄するのに必要な口数(月額掛金)と期間
…500万円以上を貯蓄するのに必要な口数(月額掛金)と期間
…300万円以上を貯蓄するのに必要な口数(月額掛金)と期間
…1,000万円以上を貯蓄するのに必要な口数(月額掛金)と期間

積立共済のしくみ (※制度内容等、詳細についてはパンフレットをご一読ください。)



※給付額は現時点では確定しておらず、変動(増減)します。
記載の給付額は、明治安田生命保険相互会社(事務幹事会社)の予定利率を使用しており、その他の引受会社の予定利率を含めたものとはなっていません。
記載の給付額は、明治安田生命保険相互会社(事務幹事会社)の予定利率(2019年1月1日現在年1.25%)に基づき計算していますが、実際にお支払いする金額は変動(増減)することがあり、将来のお支払額をお約束するものではありません。なお、基礎率(予定利率、予定死亡率、予定事業費率等)については、将来変更される場合があります。
記載の給付額には、配当金を加算していません。毎年の配当金はそれぞれの

お支払時期の前年度決算により決定しますので、現時点では確定していません。決算実績によってはお支払いできない年度もあります。また、配当金が生じた場合には積立金の増減に充当されます。年度途中で脱退された場合は、その年の配当金がありません。
積立金(脱退一時金)は加入年数が短いと払込保険料の合計を下回ります。詳細は、パンフレットをご覧ください。
この制度は、次の生命保険会社と締結した拠出型企業年金保険契約に基づき運営します。明治安田生命保険相互会社(幹事)、太陽生命保険株式会社、第一生命保険株式会社、日本生命保険相互会社、富国生命保険相互会社、住友生命保険相互会社

フレッシュパックの企画内容[基本パック]のまとめ

4つの保障が1つにセットされた新社会人のための共済

加入資格:加入日現在、満25歳以下の組合員

※加入日は、P12「1. お申込みからご加入までのスケジュール」に記載の加入日をご確認ください。

種類	保障内容一例		月額掛金内訳		
①積立(積立共済)	毎月3,000円の積立(基本コースの場合) ※月々3,000円を20年間続けると、20年間の払込掛金総額720,000円、20年後の積立総額、約792,000円(約72,000円の運用利回りが付きまます)となります。 ※積立範囲の中で途中払い出し可		3,000円 ~20万円 (積立)		
②死亡保障(生命共済)	死亡給付	加入者が死亡したとき遺族に 300万円 給付 ※重度障がいとなったときも給付します。	400円 (掛捨て)		
③医療保障(医療共済) ^{※6}	基本保障	入院給付金 入院初日から退院まで1回の入院について365日限度	ガンを含む成人病 ^{※1} で入院したとき 成人病以外の病気やケガで入院したとき	1日につき 6,000円 1日につき 3,000円	
		手術給付金 ^{※2} 手術の種類により1回につき	ガンを含む成人病 ^{※1}	入院を伴わないもの 入院を伴うもの 下記以外 重大手術 ^{※3}	3万円 6万円 15万円
			成人病以外の病気・ケガ	入院を伴わないもの 入院を伴うもの 下記以外 重大手術 ^{※3}	1.5万円 3万円 12万円
		放射線治療給付金	成人病 ^{※1} で放射線治療を受けたとき 成人病以外で放射線治療を受けたとき	6万円 3万円	
		ガン診断給付金 ガン患者申出療養保障給付金	初めてガンと診断確定されたとき(上皮内ガンを含む) ガン治療において、患者申出療養制度の適用を受けたとき	30万円 治療実費 (保障期間を通じて 2,000万円 限度)	
		先進医療給付金	病気・ケガで先進医療を受けたときの技術料	実費 (1回につき 2,000万円 限度) 一時金:10万円(保険期間を通じて1回)	
		死亡・高度障害給付金	死亡または高度障害状態になったとき	一時金 30万円	
		遺児年金	加入者が死亡・高度障害時に23歳未満の子どものあるとき	子ども1名につき 月額1万円 限度	
		遺児入学祝金	遺児年金受給者が小・中学校、高校、大学に入学したとき	入学するとき 5~20万円	
		ドナー給付金	骨髄液や臓器を提供したとき(生体間)	一時金 5万円	
特約保障	休業保障特約給付金	病気やケガで5日以上継続して自宅療養したとき(5日目からの入院と通算で365日限度)	1日につき 3,000円		
	ガン診断給付金(上乗せ)特約 ^{※4}	①初めてガンと診断確定されたとき	+100万円		
		②ガンが再発・転移したと診断確定されたとき			
		③これまでに診断されたガンとは関係ない、新たなガンが生じたと診断確定されたとき			
女性医療特約	入院給付金	対象の女性疾患にかかり入院したとき	1日につき +3,000円		
	形成治療給付金 ^{※5}	特定の手術(乳房の切除)を行ったとき 特定の手術(瘢痕形成術・変形形成術)を行ったとき	+12万円 +6万円		
④家財保障(住宅あんしん共済)	火災など	全焼壊	200万円		
	風水雪凍害	全壊	30万円		
		床上	15万円		
	浸水	床下	2万円		
		全壊	10万円		
地震	全壊	40万円			
	全焼	2万円			
その他の住宅災害			2万円		
掛金合計	基本コース	男性 積立 月々 3,000円 ~ 保障 月々 1,420円	女性 積立 月々 3,000円 ~ 保障 月々 1,560円		

(注) 加入には、平均月収(年間所得/12)が9万円以上であることが必要です。
※1 成人病とは悪性新生物、糖尿病、心疾患、高血圧性疾患、脳血管疾患をいいます。
※2 傷の処置、切開術(皮膚、鼓膜)、抜歯等お支払いの対象外の手術や支払回数に制限がある手術があります。
※3 重大手術とは以下の手術をいいます。ただし、腹腔鏡・胸腔鏡・穿頭(せんとう)は除きます。(重大手術の支払倍率変更に関する特約が自動セットされています。)
①がんに対する開頭・開胸・開腹手術および四肢切断術 ②脊髄腫瘍摘出術、頭蓋内腫瘍開頭摘出術、縦隔腫瘍開胸摘出術 ③心臓・大動脈・大静脈・肺動脈・冠動脈への開胸・開腹術 ④日本国内で行われた心臓・肺・肝臓・脾臓・腎臓の全体または一部の移植手術
※4 ガン診断給付金(上乗せ)特約については、新規ご加入時の加入期間の初日からその日を含めて90日(特約期間)を経過した日までにガンと診断確定された場合は、給付金はお支払いできません。
※5 乳房の切除とは乳房の皮膚全層および皮下組織をあわせて切除する手術です。(生検を除きます。)また瘢痕形成術・変形形成術の詳細は医療共済パンフレットP23をご覧ください。
※6 医療共済は、UAゼンセン福祉共済互助会が行う自家共済と東京海上日動火災保険株式会社の団体総合生活保険(医療補償基本特約・がん補償基本特約)をセットにした制度です。医療共済のうち東京海上日動で引き受けている部分は、入院給付金(1入院360日まで)と手術給付金、放射線治療給付金、ガン診断給付金、ガン患者申出療養保障給付金、先進医療給付金(400万円まで)、ガン診断給付金(上乗せ)特約、女性医療特約となります。

加入資格

- UAゼンセンに加盟の組合員で、加入日現在25歳以下の健康な方。
- 以下の質問1～6に該当しない方。

医療共済 ガン診断給付金(上乘せ)特約部分 健康状態の告知(ご加入できる目安)

質問1 今までに「がん」(悪性新生物、癌、悪性しゅよう、肉腫、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫を含む)または「上皮内がん」(上皮内新生物、上皮内癌、CIS、CIN3、子宮頸部の高度異形成を含む)と医師に診断されたことはありますか。

あり → 申し訳ございませんが、ご加入できません。

なし →

質問2 ●告知日(ご記入日)より過去3か月以内に入院をしたこと、または手術を受けたことはありますか。
●現在入院または手術の予定(医師から勧められている場合を含みます)はありますか。
(注)正常分娩に伴う入院・手術は本質問の対象外となります。

あり → 申し訳ございませんが、ご加入できません。

なし →

質問3 告知日(ご記入日)より過去2年以内に
●下表の病気・症状であると医師に診断されたことはありますか。
●下表の病気・症状のため、医師の指示による検査・治療(投薬の指示を含みます)を受けたことはありますか。
※検査結果が異常なしだった場合は「なし」となります。

お引受けできない病気・症状	
循環器系の病気・症状	●心臓病(狭心症、心筋梗塞、不整脈、心房細動、心室細動、心不全、心筋炎、心筋症、心肥大、弁膜症を含む) ●動脈の疾患(動脈瘤、動脈の閉塞・狭窄を含む) ●脳卒中(脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、脳血栓、脳塞栓を含む) ●高血圧症 ●脂質異常症(高脂血症)
消化器系の病気・症状	●胃潰瘍 ●十二指腸潰瘍 ●肝炎(A型肝炎をのぞく) ●肝硬変 ●慢性膵炎
呼吸器系の病気・症状	●ぜんそく(気管支喘息)(プレドニゾロン、プレドニン、メドロール、レダコート、リンデロン等の経口ステロイドを処方された場合) ●慢性気管支炎 ●肺気腫
泌尿・生殖器系の病気・症状	●腎不全 ●腎硬化症 ●慢性腎炎 ●ネフローゼ ●前立腺肥大 ●子宮筋腫
眼の病気・症状	●眼底出血 ●網膜の病気 ●白内障 ●緑内障
その他の病気・症状	●糖尿病(高血糖、糖尿病の合併症を含む) ●結核 ●免疫不全症 ●メニエール病 ●認知症(アルツハイマー病を含む) ●精神の病気(アルコール・薬物依存を含む) ●脳・神経の病気(アルコール・薬物依存を含む) ●膠原病(全身性エリテマトーデス、リウマチ、皮膚筋炎、強皮症、多発性動脈炎を含む) ●脊椎、背骨および椎間板の障害(脊椎分離症、脊椎すべり症、椎間板ヘルニア、むちうち症を含む) ●厚生労働省指定の難病(指定難病に対する医療受給者証の交付を受けている方)

あり → 申し訳ございませんが、ご加入できません。

なし → 生命共済部分の告知へお進みください。

生命共済部分 健康状態の告知(ご加入できる目安)

【告知事項(健康状態の質問事項)】は必ずお読みいただき、正しく記入してください。
新規加入または増額される加入者の申込日(告知日)時点での健康状態により加入判断を行います。
申込書の提出にあたっては、必ず申込日(告知日)をご記入ください。
(注)告知の内容が正しくないと、ご加入が取消されたり共済金がお受取りいただけない場合があります。

健康な方とは次の4～6に該当しない人をいいます。
(ただし、継続加入の方に限り4～6の健康状態でも前年度加入契約コースの保障額の範囲内で継続加入できます。)

質問4 現在、病気^{*1}やけがのため、入院・安静加療^{*2}をしている、または、入院・安静加療^{*2}・手術^{*3}を要すると診断されている。

※1「病気」には、妊娠・分娩に伴う異常(帝王切開・子宮外妊娠・妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)・流産等)を含みます。
※2「安静加療」とは、医師の診断にもとづき、自宅などで静養している状態をいいます。なお、1週間程度で完治するかぜ・インフルエンザによる安静加療は含みません。
※3「手術」には、切開術のほか、抜釘術、内視鏡手術、レーザー手術、レーシック手術、帝王切開、人工中絶手術なども含みます。また、入院を伴わない日帰り手術も含みます。ただし、抜歯は含みません。

質問5 過去1年以内に、下記の疾病により、医師の治療^{*4}を受けたこと、または、医師の治療^{*4}を要すると診断されたことがある。ただし、現在、その疾病が完治している^{*5}場合は該当しません。

※4「医師の治療」とは、投薬、医学的処置および食事療法などをいいます。
※5「完治している」とは、医師から「病気が治癒した」、「治療の必要がない」と診断されている状態をいいます。

【下記の疾病】とは、次に掲げるものをいいます。

	具体的な病例(抜粋)
新生物	●ガン(胃癌、肺癌など) ●腫瘍(甲状腺腫瘍など) ●肉腫(骨肉腫など) ●筋腫(子宮筋腫など) ●白血病(骨髄性白血病など) ほか
糖尿病	
心疾患	●高血圧症 ●心筋梗塞 ●狭心症 ●心膜炎 ●心筋症 ●不整脈 ●心不全 ●心房細動 ●心室細動 ●心肥大 ほか
脳血管疾患	●くも膜下出血 ●脳梗塞 ●脳動脈瘤 ほか
胃、腸の疾患	●胃潰瘍 ●十二指腸潰瘍 ●腸閉塞 ●潰瘍性大腸炎 ●腹膜炎 ●クローン病 ほか
肝臓、膵臓の疾患	●肝不全 ●肝炎 ●肝硬変 ●肝機能障がい ●肝膿瘍 ●膵炎 ●膵内分泌障がい ほか
腎臓の疾患	●腎炎 ●腎不全 ●ネフローゼ ●多発性嚢胞腎 ほか
呼吸器の疾患	●肺炎 ●肺結核 ●肺気腫 ●慢性気管支炎 ●気管支拡張症 ●気管支結核 ●結核性気胸 ●肺膿瘍 ほか
精神障がい	●認知症 ●躁うつ病 ●アルコール依存症 ●統合失調症 ほか
神経の疾患	●脳炎 ●髄膜炎 ●脳性麻痺 ●アルツハイマー病 ●パーキンソン病 ●てんかん ●筋ジストロフィー ●脳ヘルニア ●一過性脳虚血発作 ほか
血管および血液の疾患	●動脈硬化症 ●動脈瘤 ●血栓症 ●川崎病 ●静脈炎 ●血友病 ほか
眼の疾患	●角膜潰瘍 ●遺伝性角膜ジストロフィー ●白内障 ●緑内障 ●網膜剥離 ●網膜裂孔 ●網膜色素変性 ほか
脊柱、骨、関節、全身性結合組織、免疫の疾患	●椎間板ヘルニア ●脊柱管狭窄症 ●強直性脊椎炎 ●後縦靭帯骨化症 ●骨髄炎 ●骨粗しょう症 ●骨パジェット病 ●関節リウマチ ●膠原病 ●ベーチェット病 ●免疫不全症候群 ほか

質問6 過去1年以内に、病気^{*1}やけが(手足の骨折を除きます。)のため、連続して14日以上入院・安静加療をしたこと^{*6}、または、手術^{*3}を受けたことがある。

※6「連続して14日以上入院・安静加療をしたこと」には、入院日数と安静加療の期間が合計14日以上となる場合を含みます。例えば、自宅で2日間の安静加療後、10日間入院し、さらにその後自宅で2日間安静加療した場合等を含みます。